

理工学研究科 生命科学専攻 博士学位論文審査基準

- (1) 未解明で意義の大きい研究課題に取り組んだか。(必須)
- (2) 研究計画、方法が適切、かつ十分であったか。(必須)
- (3) 研究の一部、または研究方法の修得の一部を、海外の研究室に滞在して行っていたか。
(必須ではない)
- (4) 課題について、意義の高い成果が得られたか。3年間の標準課程に照らして十分な成果が得られたか。(必須)
- (5) 研究成果の全部または一部がすでに学術原著論文(英文、査読あり)として発表されているか。(必須)
- (6) 研究の一部を、国際的な学会等で発表しているか。(必須ではない)
- (7) 論文が論理的かつ明解に記述されているか。(必須)
- (8) 学位論文発表会(公開)の場での口頭での発表と質疑に対する応答が論理的かつ明解に行われ、審査員および聴衆を十分に納得させたか。(必須)
- (9) 研究計画の立案及び遂行、研究成果の発表並びにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされているか。

理工学研究科 生命科学専攻 博士学位授与プロセス

- 1 申請者は博士学位論文を英語で作成し提出する。
- 2 公開の場で研究成果を英語または日本語で発表し、質疑に応ずる。
- 3 論文審査・検討委員会は、論文、発表について、申請者が自立して研究を行う能力と、研究に関連した業務で国際的に活躍する能力を十分に備えているかどうかの評価を行い、最終的な合否判定を行う。